

1. 地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画について

- (1) 地域管理経営計画は、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年法律第246号）に基づき、国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、国有林の地域別の森林計画との調和を図りつつ、森林計画区ごとに、国有林野の管理経営の考え方や伐採等の事業総量等を定める計画で、計画期間は5年間。
- (2) 国有林野施業実施計画は、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即して、森林計画区ごとに、国有林野の箇所ごとの伐採、更新（造林）、林道整備、治山事業等を定める計画で、計画期間は5年間。
- (3) 四国森林管理局管内の12の森林計画区のうち、東予森林計画区（愛媛県西条市等）及び高知森林計画区（高知県香美市等）に係る上記計画は、令和6年度末に5年が経過するため、新たに策定（次期計画期間は令和7年4月1日～令和12年3月31日）。
- (4) また、今回策定する2つの森林計画区を除く7つの森林計画区の地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画について、伐採量等の変更を実施。

2. 東予及び高知森林計画区の地域管理経営計画・国有林野施業実施計画の主なポイント

(1) 現行計画の実行結果(令和2年度～令和6年度)（主なもの）

○ 現行計画の実行結果

		東予			高知		
		計画	実行	実行率	計画	実行	実行率
伐採	主伐 (千 m3)	34.3	2.3	7%	67.2	19.8	29%
	間伐 (千 m3)	76.4	17.6	23%	170.5	44.0	26%
	計 (千 m3)	110.7	19.9	18%	237.7	63.8	27%
更新	人工造林 (ha)	43	-	0%	171	60	35%
保育	下刈 (ha)	83	5	6%	546	47	9%
	つる切 (ha)	0.23	-	0%	4	-	0%
	除伐 (ha)	3	-	0%	85	18	21%
林道	開設 (m)	3,500	-	0%	6,500	520	8%
	改良 (m)	2,500	84	3%	14,410	168	1%
治山	保安施設 (箇所)	4	2	50%	15	6	40%

① 伐採

両森林計画区ともに、経済性等の条件が合わず入札不調となったこと等から、計画量を下回った。

② 更新

両森林計画区ともに、主伐の実行減等により計画量を下回る結果となった。

③ 保育

両森林計画区ともに、更新が少なかったこと等から計画量を下回る結果となった。

④ 林道

開設は、下流域における被災林道の復旧が遅れたこと、既設林道等を活用した森林整備を実施したことから、計画量を下回る結果となった。改良は、伐採や造林等の森林整備事業の実施を踏まえ、優先度

の高い路線から実行したことから、計画量を下回る結果となった。

⑤ 治山

緊急度の高い箇所から実行した。

(2) 次期計画の内容（令和7年度～令和11年度）（主なもの）

○ 計画量

		東予			高知		
		次期	現行	次期/現行	次期	現行	次期/現行
伐採	主伐（千m <sup>3</sup> ）	38.1	34.3	111%	66.6	67.2	99%
	間伐（千m <sup>3</sup> ）	90.5	76.4	118%	216.0	170.5	127%
	計（千m <sup>3</sup> ）	128.6	110.7	116%	282.6	237.7	119%
更新	人工造林（ha）	38	43	88%	93	171	54%
保育	下刈（ha）	70	83	88%	540	546	99%
	つる切（ha）	0.46	0.23	200%	13	4	325%
	除伐（ha）	-	3	-	53	85	62%
林道	開設（m）	-	3,500	-	1,400	6,500	22%
	改良（m）	550	2,500	22%	5,200	14,410	36%
治山	保安施設（箇所）	2	4	50%	8	15	53%

① 伐採

東予森林計画区は、現行計画と比較して主伐や間伐の適期林分が多くなったことから、主伐、間伐ともに増。全体量としても増。

高知森林計画区は、物部川の濁水対策が長年にわたる課題。物部川の上流域に位置する国有林野に対し非皆伐施業（育成複層林施業、天然生林施業）や間伐の実施を地元から要望されているため、主伐は減、間伐を増。全体量としては増。

② 更新

東予森林計画区は主伐量が増えるものの更新量は減。これは、主伐面積のうち皆伐については、現行計画と比較して分収林の契約満了等に伴い面積が増えるものの、複層伐については現行計画において伐採区域と保残区域を含めた区域で面積算定としていたところを次期計画において伐採区域の実面積で算定するよう変更したこと等により面積が減となり、皆伐面積と複層伐面積を踏まえた更新量は減となったもの。

高知森林計画区は主伐量が減ること等に伴い更新量は減。主伐面積のうち皆伐については、分収林を除き物部川上流域の皆伐を控えたため、現行計画と面積は同程度であるものの、複層伐の面積算定を東予と同様に変更したこと等による面積減や、計画期間を繰り越して発生した更新面積の減等により、更新量は減。

なお、両森林計画区において主伐後は更新を確実に実施。

③ 保育

下刈については、両森林計画区ともに更新量が次期計画において減となったことから減。両計画区において下刈の省力化に取り組む。

つる切、除伐については、両森林計画区において必要な箇所を実施。

④ 林道

東予森林計画区は既存路網を活用して森林整備を行うため開設しない。高知森林計画区は伐採予定箇所を中心に開設。

改良について、両森林計画区において既設林道の拡幅・舗装等を実施。

⑤ 治山

両森林計画区において近年の豪雨等による山地荒廃箇所等で実施。

3. その他

(1) 機能類型の変更

国有林野において林地保全に配慮した森林施業を推進するため、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年法律第57号）に基づく土砂災害警戒区域等に該当する森林の機能類型が水源涵養タイプの場合は、山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア）へ変更。

○ 機能類型別面積の変更

機能類型	東予				高知			
	次期		現行		次期		現行	
	(ha)	割合	(千ha)	割合	(千ha)	割合	(千ha)	割合
水源涵養	3,755	42%	4,417	49%	7,663	54%	8,557	61%
自然維持	1,125	13%	1,125	13%	1,195	9%	1,195	8%
森林空間利用	2,143	24%	2,143	24%	1,438	10%	1,438	10%
山地災害	1,939	22%	1,278	14%	3,773	27%	2,878	20%
計	8,963	100%	8,963	100%	14,068	100%	14,068	100%

(2) 特に効率的な施業を推進する森林の見直し

令和5年12月に策定された国有林野の管理経営に関する基本計画では、「特に効率的な施業を推進する森林」（以下「特効森林」という）を設定・公表し、当該森林を活用して主伐・再造林等の主に林業に関する取組を民有林関係者に分かりやすい形で効果的に進める」こととされたところ。

このため、水源涵養タイプに区分された人工林のうち、自然条件や社会的条件として地位（林地の木材生産力を示す指標）、傾斜、林道からの距離等を勘案し、特効森林を令和5年度国有林野施業実施計画において一斉変更により新たに設定。各森林計画区における森林計画の策定のタイミングで林況等を踏まえ見直しを実施。

東予森林計画区における増減はあまり見られないが、高知森林計画区では、令和5年度設定時に緑の回廊の区域内に設定した特効森林を除外したことによる減。

○ 特効森林の見直し

森林計画区名	水源涵養タイプの人工林面積 (ha)	特効森林面積 (ha)	割合
東予	2,312 (3,013)	321 (317)	14% (11%)
高知	5,425 (5,765)	809 (1,556)	15% (27%)

上段の数値は令和6年度に見直したものの。下段括弧内の数値は令和5年度設定時のもの。

4. その他の森林計画区の計画変更のポイント

- (1) 多様な森林づくりの推進のため施業群の見直し【香川、四万十川】
- (2) 林分状況等を踏まえ、主伐量・更新量・保育量を変更【香川、中予山岳、南予、四万十川、安芸】。
- (3) 密度調整が必要な林分の見直し等により、間伐量を変更【吉野川、香川、肱川、中予山岳、南予、四万十川、安芸】。
- (4) 災害復旧等のため、治山事業実施箇所等を追加【安芸】。

○ 変更計画の内容（主なもの）

項目		計画区	変更計画		現行計画		変更/現行
施業群の見直し (ha)	香川	ス長複	+6	ヒ長伐	-17	/	
		ヒ長複	+10				
	四万十川	ヒ長伐	+9	ス分散	-102		
		ス長複	+102	ヒ分散	-16		
		ヒ長複	+7				
伐採量	主伐 (千m <sup>3</sup> )	香川	81.1	79.0	103%		
		中予山岳	40.5	37.6	108%		
		南予	54.6	55.0	99%		
		四万十川	613.1	615.7	100%		
		安芸	166.6	166.6	100%		
	間伐 (千m <sup>3</sup> )	吉野川	92.2	92.2	100%		
		香川	104.4	104.3	100%		
		肱川	123.8	123.9	100%		
		中予山岳	140.5	143.0	98%		
		南予	314.0	314.1	100%		
		四万十川	1,040.9	1,040.3	100%		
		安芸	659.3	659.1	100%		
	更新	人工造林 (ha)	香川	156	153	102%	
中予山岳			46	45	102%		
南予			148	150	99%		
四万十川			1,182	1,193	99%		
安芸			299	299	100%		
保育	下刈 (ha)	中予山岳	195	193	101%		
		南予	378	379	100%		
		四万十川	3,491	3,494	100%		
		安芸	819	818	100%		
治山	保安林整備 (ha)	安芸	675	670	101%		
	保全施設 (箇所)		37	36	103%		